

2018年9月入学 外国人留学生(特別留学生) 学部1年次入学試験問題

(経済学部)

(科目名:小論文)

2018年6月16日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

現在、日本では少子化、未婚化と人口減少が大きな課題である。2016年の合計特殊出生率は1.44であり、出生数は97万6978人と第二次世界大戦後初めて100万人を下回った。この状態が続くと、15～64歳の生産年齢人口が減少するとともに、総人口も減少することになる。一方で婚姻件数は62万531組、婚姻率(人口千人当たり)は5.0と、こちらも減少し続け、戦後最低の水準である。このような出生率や婚姻率の低下の経済的・社会的原因は何か、出生率の低下や人口の減少は経済全体にどのような影響を与えるか、またこれらの問題への対応策、出生率や婚姻率を向上させる方法について考えなさい。(800字程度)

データの出典：厚生労働省「人口動態統計」

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性とその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

得点